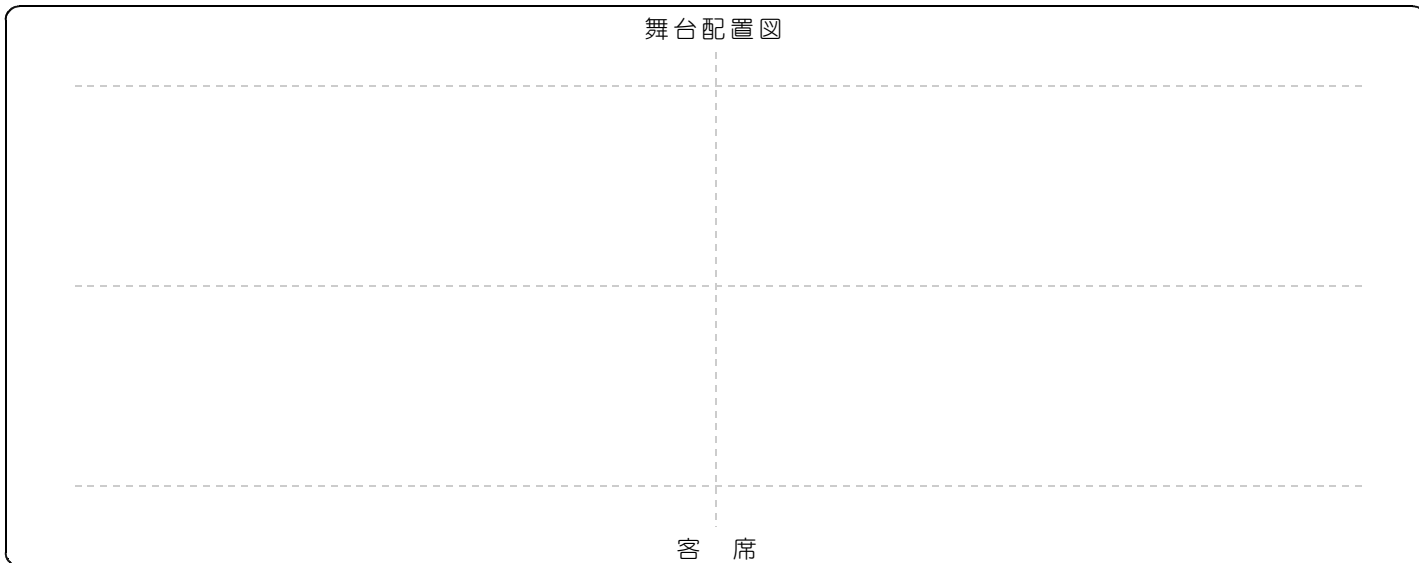


No.	道 化 師	演奏者数	演奏時間
-----	--------------	------	------

舞台配置図



客 席

表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エター-	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44				編成：箏				17絃				尺八				
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾				
箏	E	A	B	D	E	G	A	B	D	E	G	A	B	平より四九六斗一音↑ 一は五の乙 = E			
17絃											F#						
	D#	D	E	F	G	A	B	C	D	E	F	G	A	B	C	D	E
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	1	2	3	4	5	6	7
尺八	一尺六寸 □ = E を箏の一に合す 17絃は三に合す																

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1958年 委嘱者 一 構成 箏・十七弦・尺八 時間 6分 出版楽譜 前川出版

解説 尺八、箏、十七弦で華やかにくり広げられるリズムの綾取り、中間部にうねる類廃的でもの悲しい旋律—
—生きるという事の中で誰もがふと垣間見る自分自身、その中に道化師は住んでいる。1958年作曲。 [作曲者]

収録媒体 箏 沢井忠夫作品集4 (VZCG-581) 現代箏曲名曲選5 沢井忠夫 (VXCD-2005)